

隠れ水俣病

<4>

80トンの水銀流す

「昭和七年から三十四年までに約六十トの水銀を水俣湾に流した」

さる十三日行なわれた水俣病調査の第十五回口頭集議の様子



確実な地図を作ろうとすれば、わずかに患者発生地を押えていく以外に方法がなく、関係者は長いこと、もどかしい思いをしてきた。

ところが、その汚染の事実を示す一つのデータがあったので

れた。一人、二人。このわずかな毛髪から大変なことがわかった。

有機水銀は、不思議と毛髪によく蓄積される。大分県立大学の調査でも、水俣病患者の毛髪

水銀量は、一般健康人に比べ異常に高いことがわかってきた。衛生の調査はこの事実から、汚染の範囲がどの程度かを疫学的につかもうというものだったが、結果からみると、不知火海全域の汚染がはつきりした。

この貴重なデータ、とくに個人データがなぜ埋もれていたのか。調査に当たった土井幹生同所長は「目的自体が個人のものを出すというのではなく、行政的に平均値を見

「西田栄一証人」元チッソ水産工業部長が証言すると、法廷内に騒いどよめきが起こった。

裁判のうえで初めて、チッソが工場廃液とともに流した水銀量が明らかにされたのである。

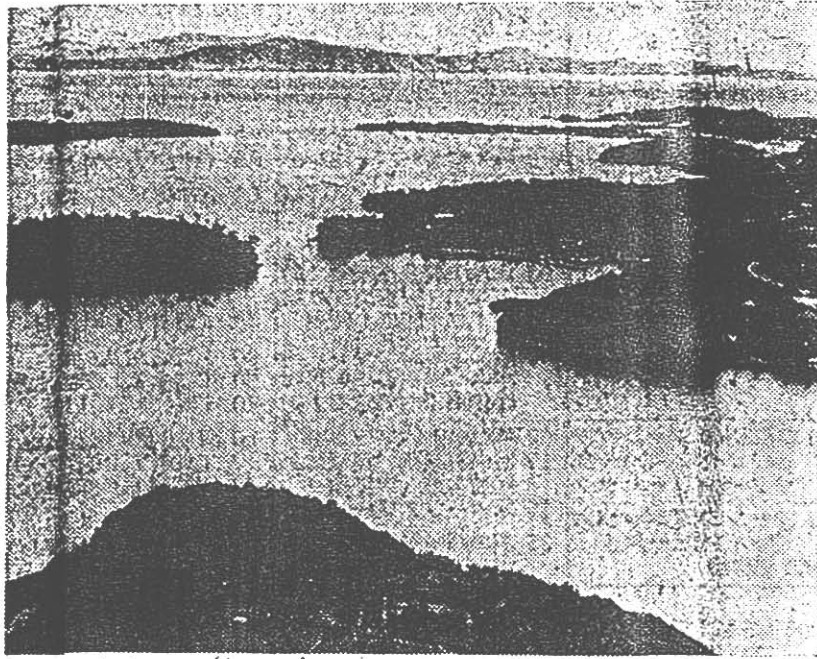
地図で見るとよくわかるが、不知火海は宇土半島、天草、長門に囲まれた細長い内海。チッソが水俣湾に排出した有機水銀は、黒の瀬戸から流れ込む瀬戸に運ばれ、不知火海全体にひろがっていったことは想像にかたくな。

では、その汚染の範囲はどこまで広がっているのか。その

ある。県衛生研究所が三十六、三十七、三十八年の三年間にわたって実施した「水俣病に関する毛髪中の水銀量の調査」の個人別データ表。この調査のまとめは、すでに公表されていたが、その個人ごとの分析結果がつい最近「水俣病を告発する会」の手で発見された。

日の目見たデータ

この調査は、同研究所が不知火海沿岸の漁民を対象に実施したもので、三十六年の第一回調査では、水俣市で沿岸八市町村で千六百九十人の毛髪を集めら



水俣病多発地帯の浜湾上空から不知火海をのぞく。海水は美しくおだやかだが、水銀汚染がどこまでひろがっているのか

いま十年ぶりに日の目を見た個人ごとのデータ表をめぐってみると、三十六

つげ、疫学的な実態をつかもうというものがあつた。決して隠したわけではなく、引越したなどで散逸したためだと言っている。

年当時の不知火海の汚染の生胎が、ありありと再現されて、ハ父深くなる。なかには、その後

P.M以上が要治療とされたが、その数は全体の二一・六八割。だが、地域的に見ると、汚染源に近い水俣市が必ずしも高くな

歳の婦人で、三十センチほどの長い髪を一センチききみに測定したけど、先端の部分から二〇〇〇P.P.Mが検出されてね。平均値が九二〇だった。本人には健康診断を受けるように言われてや

は水銀量が平常値になるまで続けたかったのだが……と土井所長は説明するが、こうして行政の手による汚染範囲をつかむ努力は終わったのである。

く、むしろ宮北町、洞浦町、田浦町が水俣市を上回っている。

御所浦町役場へ問い合わせると、この婦人はすでに四十二年七月二十一日死していった。死「届け」の死因は「老衰」。

いろいろ八年、不知火海沿岸の浦々には、水俣病症状がありながら老人病や精神病などと混同され、死後の解剖で発見された「マス」された水俣病「若や、生前は水俣病症状がなく、死後の解剖で水俣病の病姿が見つかった。不顕性水俣病」者などが、何人が発見された。汚染は広く深く進行していたのである。

地元だけにかなり徹底したのに対し、隣接町村ではあまり守られず、相当あとまで漁獲一揆取が続いたため

役場の話では、そのとき診察を受けたかどうかは確認出来ないという。いまになって、水俣病であったかどうか確認のすべはない。

果ては研究が実施した毛髪水銀量調査がより有効に、利用されていたなら、つまりこれを下敷きにした住民一斉検診が徹底的に行なわれていたならば、今日のような、隠れ水俣病の悲劇は起こらなかったに違いない。

なかでも注目されるのは、御所浦町の調査結果だ。ここには五〇PPM以上の要治療者は一八・五割と平均値を下回っているが、最高値の九二〇PPMを記録した人がいる。これは水俣

利用されていたらだが、この最新の毛髪水銀量調査も、三十八年で打ち切られた。「患者の発生が一応終わる、原因もはっきりした。補償も解決したというのが、打ち切りの理由だった。研究所として

は減少している。市町村別の五〇以上のパーセントは宮北五〇割、洞浦四一・七割、田浦三六・三割、水俣三〇・六割、津奈木二八・四割、御所は二六・五割、五〇一〇〇は二九・八割、一〇〇以上二割の順。剋服地区の熊本市の八八割という結果、二五三場合すべて五〇以下、

汚染範囲をびたり

沿岸8市町村、1690人対象に

貴重な「毛髪水銀」調べ

水俣病と認定された人や、疑いを持たれたまま死亡した人の名前も見える。この調査では、水銀量五〇P

「ああ、はつきり覚えてます。すでに寝込んでいた五十四

◇毛髪水銀量調査	
×毛	五〇PPM以上を要治療、一〇〇PPM以上を注射とした
○	五〇PPM以下

は減少している。市町村別の五〇以上のパーセントは宮北五〇割、洞浦四一・七割、田浦三六・三割、水俣三〇・六割、津奈木二八・四割、御所は二六・五割、五〇一〇〇は二九・八割、一〇〇以上二割の順。剋服地区の熊本市の八八割という結果、二五三場合すべて五〇以下、